

平成30年度 一般社団法人イーストとくしま観光推進機構

外部評価委員会資料

平成31年2月12日(火)

アスティとくしま2階 第4会議室

午後13時10分～

目次

外部評価委員会設置要綱	1 頁
まち・ひと・しごと創生「総合戦略」全体像	2 頁
地方創生関係推進交付金	3 頁
地域再生計画(提出書類)	4 頁
イーストとくしま観光推進機構2018年度予算	12 頁
イーストとくしま観光推進機構(2018～2020予算)	13 頁
イーストとくしま観光推進機構(2018年度事業報告)	14 頁
都道府県別 延べ宿泊者数年計(観光庁「宿泊旅行統計調査」)	21 頁
都道府県別 外国人延べ宿泊者数年計(観光庁「宿泊旅行統計調査」)	22 頁
徳島県 観光施設入込状況(国道交通省 四国運輸局)	23 頁

一般社団法人イーストとくしま観光推進機構
外部評価委員会設置要綱

(目的)

第1条 一般社団法人イーストとくしま観光推進機構(以下、「機構」という。)が、交流人口の増加や徳島県東部圏域の活性化を図るため、地方創生推進交付金を活用して実施する事業の評価や効果等を検証するため、一般社団法人イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会(以下、「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事務を所掌する。
(1) 徳島県東部圏域の延べ宿泊者数、観光入込客数等の重要業績評価指標の評価や検証に関すること。
(2) 重要業績評価指標の進行管理に関すること。
(3) その他必要な事項についての提言に関すること。

(組織等)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員で構成する。
(1) 学識経験者
(2) その他、必要と認められる者

(役員)

第4条 委員会には次に掲げる役員を設置する。
(1) 委員長 1名
(2) 副委員長 1名
2 委員長は、委員の互選による。
3 副委員長は、委員長の指名による。
4 役員任期は、2年とする。但し、欠員が生じた場合の補欠の役員任期は、前任者の残任期間とする。
5 役員は、再任することができる。

(会議)

第5条 委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集し、委員長が議長となる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、機構事務局において所掌する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項については、委員長が定める。

附 則

この要綱は、平成31年1月18日から施行する。

まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」と「総合戦略」の全体像

長期ビジョン

中長期展望(2060年を視野)

I. 人口減少問題の克服

◎2060年に1億人程度の人口を確保

◆人口減少の歯止め

・国民の希望が実現した場合の出生率(国民希望出生率)=1.8
◆「東京一極集中」の是正

II. 成長力の確保

◎2050年代に実質GDP成長率1.5~2%程度維持
(人口安定化、生産性向上が実現した場合)

総合戦略(2015~2019年度の5か年)

基本目標(成果指標、2020年)

「しごと」と「ひと」の好循環作り

地方における安定した雇用を創出する

- ◆若者雇用創出数(地方) 2020年までの5年間で30万人
- ◆若い世代の正規雇用労働者等の割合 2020年までに全ての世代と同水準(15~34歳の割合:92.2%(2013年) (全ての世代の割合:93.4%(2013年))
- ◆女性の就業率 2020年までに73%(2013年:70.8%)

地方への新しいひとの流れをつくる

- 現状:東京圏年間10万人入超
- ◆地方・東京圏の転出入均衡(2020年)
 - ・地方→東京圏転入:6万人減
 - ・東京圏→地方転出:4万人増

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ◆安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会を達成していると考える人の割合 40%以上(2013年度:19.4%)
- ◆第1子出産前後の女性継続就業率 55%(2010年:38%)
- ◆結婚希望実績指標 80%(2010年:68%)
- ◆夫婦子ども数予定(①②)実績指標 95%(2010年:93%)

好循環を支える、まちの活性化

時代に合った地域をつくり、安心・暮らしを守るために、地域と地域を繋がる

- ◆地域連携数など
- ※目標数値は地方版総合戦略を踏まえ設定

主な施策

①地域産業の競争力強化(業種横断的取組)

包括的創業支援、中核企業支援、地域イノベーション推進、対内投資促進、金融支援

②地域産業の競争力強化(分野別取組)

・サービスマ産業の付加価値向上、農林水産業の成長産業化、観光、ローカル版クールジャパン、ふるさと名物、文化・芸術・スポーツ

③地方への人材還流、地方での人材育成、雇用対策

・「地元しごと支援センター」の整備・稼働
・「プロフェッショナル人材センター」の稼働

① 地方移住の推進

・「全国移住促進センター」の開設、移住情報一元提供システム整備
・「地方居住推進国民会議」(地方居住(二地域居住を含む)推進)

② 地方拠点強化、地方採用・就労拡大

・「日本版CCRC※2」の検討、普及
・企業の地方拠点強化等
・政府関係機関の地方移転
・遠隔勤務(サテライトオフィス、テレワーク)の促進
③ 地方大学等創生5か年戦略

① 若者雇用対策の推進、正社員実現加速

② 結婚・出産・子育て支援

・「子育て世代包括支援センター」の整備
・子ども・子育て支援の充実
・多子世帯支援、三世帯同居・近居支援
③ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現(「働き方改革」)

・育児休業の取得促進、長時間労働の抑制、企業の取組の支援等

① 「小さな拠点」(多世代交流・多機能型)の形成支援

② 地方都市における経済・生活圏の形成(地域連携)

・都市のコンパクト化と周辺等のネットワーク形成

③ 大都市圏における安心な暮らしの確保

④ 既存ストックのマネジメント強化

※1 Key Performance Indicator の略。政策ごとの達成すべき成果目標として、日本再興戦略(2013年6月)でも設定されている。

※2 米国では高齢者が移り住み、介護時から介護・医療が必要となる時期まで継続的なケアや生活支援サービスを受けながら生涯学習や社会活動等に参加するような共同体(Continuing Care Retirement Community)が約2,000カ所ある。

地方創生関係交付金

地方創生関係交付金の概要（イメージ）

- 自治体の自主的・主体的な取組で、先導的なものを支援
- KPIの設定とPDCAサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組を支援



地域再生計画

1 地域再生計画の名称

徳島東部地域におけるDMO推進

2 地域再生計画の作成主体の名称

徳島市、鳴門市、小松島市、吉野川市及び阿波市並びに徳島県勝浦郡勝浦町及び上勝町、名東郡佐那河内村、名西郡石井町及び神山町並びに板野郡松茂町、北島町、藍住町、板野町及び上板町

3 地域再生計画の区域

徳島市、鳴門市、小松島市、吉野川市及び阿波市並びに徳島県勝浦郡勝浦町及び上勝町、名東郡佐那河内村、名西郡石井町及び神山町並びに板野郡松茂町、北島町、藍住町、板野町及び上板町の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

(1) 徳島県への来訪者の主な観光ルートが、淡路島・香川県東部から徳島県東部（鳴門市・徳島市等）に流入するルートと香川県西部から徳島県西部（祖谷等）に流入するルートに別れ東西が分断されており、さらに、徳島県東部・西部それぞれに観光客を惹きつける観光資源を有しており観光客数は多いものの、市内や県内での周遊ルートや滞留施設が十分に整備されていないことから、来訪者が徳島県内を観光した後、直ぐに四国の他県や関西圏などに流出しているため、徳島県が宿泊を伴わない経由地になりがちな状況にある。このことが、徳島県の延べ宿泊者数の低迷に繋がっており、県及び県内市町村の連携による広域連携による観光の推進や圏域の主要観光地・交通拠点を結ぶ周遊ルートの整備と定着に向けた取組など、滞在型観光に向けた事業を推進していくことが喫緊の課題となっている。

(2) 徳島県東部では、絶対的な誘客コンテンツである「阿波おどり」を有しているがその反面、観光のピークが「阿波おどり」が開催される夏場に集中し、それ以外の時期は比較的、観光客が少なくなっている。これにより、宿泊施設の回転率の不均衡に繋がっており、その結果、滞留時間の長い旅行商品を造成しにくい等の問題が生じている。今後は、観光資源の発掘・ブラッシュアップによる1年を通じた誘客コンテンツの開発・定着化や戦略的な情報発信、受入体制の整備など、観光の通年化を図る取組を進めることが求められる。

(3) 急速に観光を取り巻く環境（高速交通・通信網の整備、観光スタイルの多様化、外国人旅行者の急増等）が変化していく中、県内外の徳島東部地域周辺の観光地のブランド化が進む一方で、徳島東部地域の観光地としての存在感が低下しており、その結果、これまでも徳島県東部の市町村が連携して観光地域づくりに取り組んできたが、入り込み観光客数は伸び悩んでいる状況が続いている。このため、より一層、地域間連携を強化しつつ官民が連携して地域住民を巻き込みながら、専門性を持って継続的に観光振興に取り組んでいく体制を構築し、旅行者のニーズの多様化等に速やかに対応し、それぞれの地域の特性を發揮した広域観光地域づくりを進めていくことが求められている。

4-2 地方創生として目指す将来像

人口減少に伴う地域活力の低下が問題となる中、近年、地域経済の活性化やしごと創生に高い効果が期待される「観光」に注力する自治体が増加しているが、徳島県の宿泊者数は、都道府県別で全国ワーストが続くなど、観光産業の拡大が徳島県の大きな課題となっている。こうした中、徳島県西部では、2市2町と地域連携DMO候補法人が連携してインバウンド対応などに成果をあげているが、徳島県内でも有数の観光地である徳島市・鳴門市等が位置する徳島県東部では、インバウンド対応や観光分野における広域かつ官民協働による取組等が遅れている状況にある。

徳島県東部は、「鳴門の渦潮」「吉野川」「眉山」など雄大で豊かな自然や「阿波藍」「阿波人形浄瑠璃」「お遍路」など世界に誇ることのできる独自の歴史文化など、魅力的な観光資源を多数有している。とりわけ、「阿波おどり」は観光の柱となっており、毎年100万人以上の見物客が訪れているほか、近年では「大塚国際美術館」が国内外から高い評価を得ているところである。

徳島県東部では、これまでも定住自立圏協定を交わしている12の市町村が「徳島東部地域体験観光市町村連絡協議会」を設立し、市町村の枠を超えた広域圏域での観光振興を目指して、各市町村が連携しながらさまざまな事業を実施してきた。

今後は、鳴門市、吉野川市、阿波市を加えた徳島東部15市町村において、新たに全国最大級の自治体数となる徳島東部地域DMO（仮称）を設立し、旅行者のニーズの変化等に対応できる仕組みを構築することにより、徳島東部圏域が一体となって、広域かつ戦略的に観光・交流を促進するための方策を推進することを目指そうとしている。

さらに、民間事業者等が主体的に関わるなど民の役割を強化し、官民が一体となり、より効果的で、継続的・自立的な観光振興を進めていくことにより、入り込み観光客数や宿泊者数の拡大を図り、観光消費を増加させることで、観光産業

の振興による交流人口の増加や圏域の活性化に繋げていくことが求められている。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H30 年度 増加分 1 年目	H31 年度 増加分 2 年目	H32 年度 増加分 3 年目	KPI 増加分 の累計
徳島県東部圏域の延べ宿泊者数 (万人)	179.57	3	3	3	9
徳島県東部圏域の観光入込客数 (万人)	255.74	5	5	5	15

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

徳島県東部地域 15 市町村及び民間事業者 20 社以上が連携して、観光消費額の増加による地域経済の活性化や住民愛着度の向上を目的とした徳島東部地域DMO（仮称）を設置し（平成 30 年 3 月 30 日に（一社）イーストとくしま観光推進機構を設立済みであるため、以降名称を改める）、（一社）イーストとくしま観光推進機構が、戦略的なマーケティング、情報発信の強化、誘客・送客・流通促進、広域連携による観光地域づくりの推進等に取り組み観光振興を推進することで、交流人口の増加や圏域の活性化を図る。

5-2 第 5 章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

徳島市、鳴門市、小松島市、吉野川市及び阿波市並びに徳島県勝浦郡勝浦町及び上勝町、名東郡佐那河内村、名西郡石井町及び神山町並びに板野郡松茂町、北島町、藍住町、板野町及び上板町

② 事業の名称：徳島東部地域におけるDMO推進

③ 事業の内容

徳島県東部地域 15 市町村及び民間事業者 20 社以上が連携して、観光消費額の増加による地域経済の活性化や住民愛着度の向上を目的とした（一社）イーストとくしま観光推進機構を設置し、（一社）イーストとくしま観光推進機構が次の取組を実施し、観光振興を推進する。

(1) 日本版DMOの設置

徳島東部地域の広いエリアの観光資源を活用し、官民協働で広域観光地域づくりを戦略的に進めていくための舵取り役として、「(一社) イーストとくしま観光推進機構(日本版DMO)」を、官民が一体となって設立する。(平成30年3月30日に(一社) イーストとくしま観光推進機構を設立済み)

(2) (一社) イーストとくしま観光推進機構を司令塔とした戦略的なマーケティング

データ収集・分析を通して、データに基づくターゲットの設定や15市町村の観光資源の発掘・再発見や磨き上げなど戦略的なマーケティングを進める。

(3) 自治体・民間事業者・DMOが連携した情報発信の強化

デジタル広告の活用など国内向け・海外向けプロモーションの充実やワンストップ窓口など観光情報基盤の整備を進める。

(4) 徳島東部地域への入込客増加に向けた誘客・送客・流通促進

誘客・送客事業者等との連携強化、着地型旅行商品の造成や商談会等への参加など徳島東部地域での回遊性向上につながる施策を実施し、入込客増加を目指す。

(5) 広域連携による観光地域づくりの推進

徳島東部地域内でのネットワーク構築を図り、人材育成や地域産品・物産の開発支援などDMOと官民が広域連携して、観光地域づくりを進める。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

- ・徳島県東部圏域においてDMOを設立し、徳島東部15市町村が徳島県や地域と十分に連携・協働しながら、従前から実施している事業に加え、自主的な収益事業を積極的に展開することで、DMO設立後に各種事業収入の増加を図る。
- ・(一社) イーストとくしま観光推進機構は、20社以上という大規模の民間事業者が参画(協賛金の負担等)しており、設立前段階から深化した官民協働の枠組み、安定的な運営を担保した仕組みを構築しており、今後はさらに拡大を図る。
- ・これらの取組(自主的な収益事業の積極展開による収入増加や民間連携の拡大)を進めることに伴い、行政負担を減少させ、行政の負担・補助金のみには頼らない、自立した持続的な地域連携DMOの運営及び観光振興の推進を目指す。

【官民協働】

- ・社会情勢の変化や観光ニーズの多様化に対応するため、従来型の行政主導ではなく、民間事業者とも協力しながら、戦略的かつ効果的に観光振興を図ることが必要であるため、徳島東部地域の15市町村と地元金融機関や観光・宿泊・運輸・報道機関・IT関係等、幅広い民間事業者の参画を得て設立した、(一社)イーストとくしま観光推進機構を中心に、地域が一体となって観光振興を進めようとしている。
- ・設立準備段階から20社以上と大規模かつ幅広い分野・業種の民間事業者が多数参画し、民間の意見やニーズを十分に吸い上げたDMO法人にしようとしているなど、官民連携の枠組みを深化させたものとしている。また、民間事業者が資金を拠出し、職員を派遣するなど、一定の責任を有し、安定的な運営を担保する仕組みを構築している。
- ・設立後は各種団体(自治体・民事業者・NPO法人等を想定)が参加するDMO協議会を設置し、それぞれがテーマ別の部会に参加し、個々の取組について連携しながら進めることを予定しており、継続的に官民が関わり合う仕組み・連携体制を十分に吟味したものとしている。

【政策間連携】

- ・急激な少子高齢化の進行等で人口減少が加速していることにより、様々な分野で都市間競争が進む中、(一社)イーストとくしま観光推進機構を中心に、徳島東部地域の15市町村の自治体にまたがる広域な範囲で来訪客の増加に向けた取組を戦略的・総合的に推進するとともに、シティプロモーション・地域のにぎわいづくり・地域産業の振興等の様々な施策と連携することで、「都市のブランディング」、「交流人口の増加」、「地域経済の活性化」等多様な効果を発揮し、圏域の活性化に繋げることで地方都市の衰退に歯止めをかけようとしている。

【地域間連携】

- ・徳島市は、定住自立圏(全12市町村・中心市は徳島市)を形成し、これまで圏域の市町村と相互に連携・協力して「観光開発・観光誘致事業」に取り組んできた。今後は、この枠組みに鳴門市・吉野川市・阿波市を加えた全国最大級の15市町村に体制を拡大して、(一社)イーストとくしま観光推進機構を中心に、圏域市町村等が連携した観光施策を一層充実させ、それぞれの地域の特性や強みを活かした観光客数増加に向けた取組を一体となって推進する。また、徳島県やDMOの取組を先行して進めている徳島県西部地域と連携し、相互に人の流れを創り出すなど相乗効果を生み出

し、徳島県全体の観光振興・活性化に資することを旨とする。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H30 年度 増加分 1 年目	H31 年度 増加分 2 年目	H32 年度 増加分 3 年目	KPI 増加分 の累計
徳島県東部圏域の延べ宿泊者数 (万人)	179.57	3	3	3	9
徳島県東部圏域の観光入込客数 (万人)	255.74	5	5	5	15

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

毎年度、DMO外部評価委員会（仮称）において、効果検証等を行う。

徳島市においては、併せて、徳島市まちづくり総合ビジョン推進評価委員会による検証も行う。

鳴門市においては、併せて、総合戦略評価委員会による検証も行う。

阿波市においては、併せて、阿波市まち・ひと・しごと創生本部有識者会議による検証も行う。

【外部組織の参画者】

DMO外部評価委員会（仮称）： 学識経験者、経済団体、NPO法人等を予定
 徳島市まちづくり総合ビジョン推進評価委員会: 徳島大学、四国大学、徳島文理大学、
 大学院生、徳島経済研究所、
 株式会社ときわ、公認会計士
 （平成 30 年度の参画者）

総合戦略評価委員会： 徳島県、鳴門商工会議所、鳴門松茂地区農業協同組合
 運営協議会、鳴門市水産振興協議会、鳴門教育大学、
 阿波銀行、徳島新聞、ハローワーク

阿波市まち・ひと・しごと創生本部有識者会議： 県議会、市議会、大学教授、市中銀行、
 教育委員会委員、商工会、観光協会、
 社会福祉協議会、農業関係者、PTA連
 合会、企業、新聞社、NPO法人、野菜
 ソムリエ組織など代表者で組織

【検証結果の公表の方法】

検証後、15市町村の各ホームページで検証結果を公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 108,480千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日（3カ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

【検証方法】

毎年度、DMO外部評価委員会（仮称）において、効果検証等を行う。

徳島市においては、併せて、徳島市まちづくり総合ビジョン推進評価委員会による検証も行う。

鳴門市においては、併せて、総合戦略評価委員会による検証も行う。

阿波市においては、併せて、阿波市まち・ひと・しごと創生本部有識者会議による検証も行う。

【外部組織の参画者】

DMO外部評価委員会（仮称）： 学識経験者、経済団体、NPO法人等を予定
徳島市まちづくり総合ビジョン推進評価委員会：徳島大学、四国大学、徳島文理大学、
大学院生、徳島経済研究所、
株式会社ときわ、公認会計士
（平成30年度の参画者）

総合戦略評価委員会：徳島県、鳴門商工会議所、鳴門松茂地区農業協同組
合運営協議会、鳴門市水産振興協議会、鳴門教育大
学、阿波銀行、徳島新聞、ハローワーク

阿波市まち・ひと・しごと創生本部有識者会議：県議会、市議会、大学教授、市中銀行、
教育委員会委員、商工会、観光協会、
社会福祉協議会、農業関係者、PTA
連合会、企業、新聞社、NPO法人、
野菜ソムリエ組織など代表者で組織

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	H30年度 増加分 1年目	H31年度 増加分 2年目	H32年度 増加分 3年目	KPI増加分 の累計
徳島県東部圏域の延べ宿泊者数(万人)	179.57	3	3	3	9
徳島県東部圏域の観光入込客数(万人)	255.74	5	5	5	15

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

毎年度、連携15市町村の各ホームページで公表する。

■ イーストとくしま2018年度予算（地方創生推進交付金関係）

（歳入）

（単位：千円）

市町村別	負担金（地方創生推進交付金）
徳島市	18,000
鳴門市	2,000
小松島市	2,000
吉野川市	2,000
阿波市	2,000
勝浦町	1,400
上勝町	1,400
佐那河内村	1,400
石井町	1,400
神山町	1,400
松茂町	1,400
北島町	1,400
藍住町	1,400
板野町	1,400
上板町	1,400
合計	40,000

（歳出）

（単位：千円）

区分（事業別）	
① 徳島東部地域の観光資源の発掘と磨きに向けたデータ収集等	600千円
② 自治体・民間事業者・DMOが連携した情報発信の強化	12,400千円
(1)イーストHP制作	(5,400)
(2)WEBプロモーション	(4,600)
(3)募集型企画旅行支援	(1,500)
(4)観光パンフレット制作等	(900)
③ 徳島東部地域への誘客・送客・営業活動	1,500千円
④ 広域連携による観光地域づくりの推進	2,100千円
(1)「食メニュー」を活用した商品開発	(1,500)
(2)地域住民との合意形成	(600)
⑤ 管理経費（人件費・管理経費）	23,400千円
合計	40,000

イーストとくしま観光推進機構（2018～2020 3か年地方創生推進交付金関係）

市町村名	地方創生交付金関係負担金（2018）	地方創生交付金関係負担金（2019）	地方創生交付金関係負担金（2020）	合 計
徳島市	18,000	16,200	14,600	48,800
鳴門市	2,000	1,800	1,620	5,420
小松島市	2,000	1,800	1,620	5,420
吉野川市	2,000	1,800	1,620	5,420
阿波市	2,000	1,800	1,620	5,420
勝浦町	1,400	1,260	1,140	3,800
上勝町	1,400	1,260	1,140	3,800
佐那河内村	1,400	1,260	1,140	3,800
石井町	1,400	1,260	1,140	3,800
神山町	1,400	1,260	1,140	3,800
松茂町	1,400	1,260	1,140	3,800
北島町	1,400	1,260	1,140	3,800
藍住町	1,400	1,260	1,140	3,800
板野町	1,400	1,260	1,140	3,800
上板町	1,400	1,260	1,140	3,800
合計	40,000	36,000	32,480	108,480

《平成30年度事業報告》

I 組織の概要

一般社団法人イーストとくしま観光推進機構（以下、「機構」という。）は、観光消費額の増加による地域経済の活性化及び地域に対する住民の愛着や誇りの醸成を2つのミッションとして掲げ、平成30年3月30日に設立され、同年4月2日徳島市において事務所を開設し、業務を開始した。平成30年度は、前年度の徳島東部地域DMO設立準備委員会に引き続き多様な関係者と協働した組織づくりを進めるとともに、観光地域づくり、プロモーション・セールス、及び市場調査等の事業に取り組んだ。また、本年7月31日には、観光庁より日本版DMO候補法人（地域連携DMO）として登録がなされた。今後さらなる事業の推進とともに、日本版DMO登録に向けた取組を進める。

II 事業の実績

1 観光地域づくり事業

(1) 平成30年度 第1回協議会「イーストとくしま誘客ラボ」

日時 平成30年8月28日（火）13:00～18:45

場所 アスティとくしま

内容 ・協議会運営について

・WGの発表

・基調講演（北海道宝島旅行社 鈴木宏一郎氏）

・意見交換会

約120名参加

(2) 徳島東部エリア満喫モニターツアー

「！」ぎっしり。徳島東部エリア満喫モニターツアー

期間 平成30年11月3日から平成31年1月20日まで

コース 8プラン

場所 徳島県東部圏域15市町村

（徳島市、鳴門市、小松島市、吉野川市、阿波市、勝浦町、上勝町、佐那河内村、石井町、神山町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町）

内容 徳島県東部圏域の認知度の向上や徳島県内外の旅行者を呼び込む

ため、同圏域の各市町村の観光施設を周遊する8つのモニターツアーの実施とともに、参加者へのアンケート調査によるデータの収集・分析によって、今後の観光地域づくりの指針につなげる。

11/3 (土)

アートの町神山芸術の旅

(神山町) 40名

11/10 (土)

映画のロケ地！勝浦・上勝町でいろどり&自然体験

(勝浦町・上勝町) 17名

11/17 (土)

食欲の秋！徳島ブランド阿波美豚とハモ丼で満腹の旅

(石井町・小松島市) 36名

11/23 (祝・金)

農業・漁業を体験！徳島の暮らし体感の旅

(松茂町・佐那河内村) 25名

12/1 (土)

科学・自然を学ぶ！板野町・阿波市を巡る旅

(板野町・阿波市) 22名

12/8 (土)

JAPAN BLUE 阿波藍染めを学ぶ！体験する日帰りツアー

(藍住町・上板町) 23名

12/15 (土)

自分へのお土産に！制作体験目白押しツアー

(北島町・吉野川市) 21名

2/2~3&2/16~17 (土・日)

徳島・鳴門2大都市満喫の旅(徳島市・鳴門市) 日帰り

(3) 情報発信技術向上への取り組み

① 第1回 情報発信勉強会

日 時 平成30年9月26日(水)

場 所 アスティとくしま 2F 第5会議室

講 師 一般社団法人徳島新聞社 編集局次長 松本 真也氏

内 容 紙面掲載ノウハウとプレスリリース作成について

19名参加

② 第2回 情報発信勉強会

日 時 平成30年10月25日(木)

場 所 阿波おどり会館 4F第1活動室

講 師 四国放送株式会社 報道情報センター 八幡 篤範氏

内 容 テレビ局の仕組みと動画制作のポイントについて

11名参加

(4) DMOの取り組みや活動についての講演活動

① 8/29: NECビジネスセミナー 約80名

② 10/15: 徳島青年会議所10月例会(観光部会) 約80名

③ 10/19: 通訳人材養成セミナー(徳島県) 約40名

④ 10/22&29: 徳島大学「観光学講座」 約80名

⑤ 11/7: 観光アイデアコンテスト(徳島経済同友会) 約30名

⑥ 11/20: 徳島県広告協会秋の講演会 約70名

⑦ 11/22: 4K・VR徳島映画祭 約30名

2 プロモーション・セールス事業

(1) 国内外・現地旅行会社との商談会等によるPR活動

<国内>

① 東京「オール徳島観光商談会」

日 時 平成30年5月15日(火)~16日(水)

② 大阪「JR四国商品説明会」

日 時 平成30年5月30日(水)

③ 東京「オール徳島観光商談会」

日 時 平成30年9月13日(木)~14日(金)

<国外>

① 台湾 「台湾3都市におけるセミナー・個別相談会」

日 時 平成30年9月4日(火)~8日(土)

場 所 台湾(高雄市・台中市・台北市)

② 香港 「日本秋祭りin香港 徳島インバウンド商談会」

日 時 平成30年11月11日(日)~14日(水)

場 所 香港

③ 愛媛「瀬戸内への海外富裕層旅行会社等との意見交換会」

日 時 平成30年11月13日(火)~14日(水)

対象地域 欧米豪の旅行代理店

- ④ タイ・香港 「四国インバウンド商談会 in バンコク」
日 時 平成30年11月17日(土)～24日(土)
場 所 タイ(バンコク)・香港
- ⑤ 香港 「徳島インバウンド商談会」
日 時 平成30年11月11日(日)～14日(水)
場 所 香港
- ⑥ 香港 「季節定期便就航に伴う誘客促進」
日 時 平成30年12月19日(水)～22日(土)
場 所 香港
- ⑦ 台湾
日 時 平成31年1月18日(金)～20日(日)
場 所 台湾(台北市)

(2) ホームページリニューアル

平成30年10月31日、ホームページをリニューアル。「じゃらん遊び体験」や「旅くら」と連携することにより、宿泊施設の予約や地域の体験プランの情報提供など、旅行者の利便性の向上に努めている。

HP：<http://www.east-tokushima.jp/>

Facebook：<https://www.facebook.com/east.tokushima2018/>

Instagram：<https://www.instagram.com/p/BrRy3QtBs7z/>

(3) WEBプロモーション

徳島県東部圏域の観光・イベント情報・宿泊・体験プラン等を訴求力のあ
る動画や写真で発信することにより、観光客の増加につなげる。

- ① 11/15 配信：「徳島で発見した日本の原風景」
 - ② 12/ 1 配信：「徳島ナイトライフの楽しみ方」
 - ③ 12/15 配信：「自分を高める聖地へ！お遍路ガール」
 - ④ 2/4 配信：「人形浄瑠璃と藍染を巡る水都とくしま母娘旅」
- etc…

※今後計11本作成(予定)

3 市場調査事業

(1) 観光アンケート

観光施設において、対面式のアンケート(一部訪日外国人を含む。)を行
い、旅行目的や観光消費額、満足度などの情報収集を行った。また、徳島県
東部圏域の宿泊施設においても、留め置き式のアンケート調査により同様の

情報収集を行い、現在調査結果の分析を進めている。分析結果については、今後の事業に役立ててもらうため社員・賛助会員はじめ、地域の観光関連事業者へフィードバックする。

(対面式)

平成30年11月3日(土)・平成30年11月4日(日)

⇒アンケート収集数：423サンプル(外国人：34サンプル)

(留め置き式)

平成30年10月24日(水)～平成30年11月4日(日)

⇒アンケート収集数：102サンプル(外国人：3サンプル)

合計アンケート収集数：525サンプル(外国人：37サンプル)

(2) 観光動態調査及び来訪者満足度調査の分析

観光客の属性別の行動実態等の把握と、来訪者満足度調査との関わりについて分析を行い、来訪者のニーズを把握する。

<分析対象>

期 間：2017年6/1～11/30

対 象：徳島県東部圏域内に60分以上滞在した方(生活圏データ排除)

10,000人<日帰り：5,136名：宿泊：4,864名>

(ウェイトバック補正後)

4 実施事業

(1) 観光コーディネーター養成講座

地域資源の価値を見出し、売れる商品へと編集していく視点と、それらの価値を事業者へ効率的に伝えるノウハウを身に付けることで、観光消費額の増加や観光客に対する「おもてなし」の向上を図るため、6回シリーズの講座を開催。

<プログラム>

- ① 12/7：エリア観光地の現状とあるべき姿
～観光コーディネーターの必要性について～ 44名
- ② 12/17：通訳案内士が見た訪日観光客の感動ポイント
～おもてなしの心～ 52名
- ③ 1/10：観光コーディネーターの多様な役割
～コーディネーターとプロモーション～
- ④ 1/21：ガイド業務の基本①

～ガイドの内容・ポイントについて～

⑤ 2 / 4 : ガイド業務の基本②

～シナリオ作成・ガイド実演～

⑥ 2 / 23 : 実地体験研修 (にし阿波)

(2) 「食」メニュー企画・プロモーション

徳島県産食材を使用したホテルの「新たな朝食メニュー」を、WEBや「GEEN」等の情報発信により、徳島県東部圏域の豊かな食に対する興味の醸成及び宿泊者の増加・満足度の向上を図る。

(平成31年2月より実施予定)

(3) 観光パンフレット等営業ツール作成及びパッケージツアー造成の推進

徳島県東部圏域の認知度や来訪意欲の向上、機構観光サイトへの検索流入を増やすため、国内外の個人旅行者向けパンフレット及びデジタルも含む営業ツール等を作成し誘客を促進する。

(4) 「募集型企画旅行」支援事業

徳島県東部圏域の魅力発信及び県外からの宿泊者増加を目的に、旅行代理店を対象に徳島県東部圏域の宿泊を伴う「募集型企画旅行商品」に対してパンフレット・募集チラシ・新聞折込・新聞広告掲載などの費用に助成金を交付し、旅行商品の造成を促進する。

※京都府、岡山県、島根県、石川県、兵庫県の旅行会社を中心にセールスを実施している。

<参考>

1 社員・会員（平成31年2月1日現在）

<社員（自治体・15）>

徳島市・鳴門市・小松島市・吉野川市・阿波市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町

<社員（民間・18）>

東海運株式会社・株式会社阿波銀行・株式会社エアトラベル徳島・オーシャントランス株式会社・株式会社キョーエイ・株式会社JTB・四国電力株式会社・四国放送株式会社・テック情報株式会社・東武トップツアーズ株式会社・株式会社ときわ・株式会社徳島銀行・一般社団法人徳島新聞社・徳島信用金庫・株式会社日本旅行・ノヴィル株式会社・株式会社ハレルヤ・株式会社あわわ

<賛助会員（会員・7）>

四国旅客鉄道株式会社・全日本空輸株式会社・株式会社テレコメディア・徳島県信用保証協会・徳島港湾荷役株式会社・徳島市旅館組合・株式会社ネオピエント

<一般会員（会員・3）>

公益社団法人徳島県物産協会・三井住友海上火災保険株式会社・東京海上日動火災保険株式会社

2 日本版DMO候補法人登録について

観光庁へ日本版DMO候補法人登録の申請を行い、平成30年7月31日付で登録された。

（登録の詳細）

日本版DMO候補法人の名称：一般社団法人イーストとくしま観光推進機構

申請区分：地域連携DMO

登録番号：第20086号

マーケティング・マネジメントを対象とする区域：

徳島県徳島市、鳴門市、小松島市、吉野川市、阿波市、勝浦町、上勝町、佐那河内村、石井町、神山町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町

以上

1-1. 都道府県別 延べ宿泊者数 推移表 (年計)

(単位:人泊)

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
	計	計	計	計	計	計	計
全 国	417,234,450	439,495,120	465,893,370	473,501,950	504,078,370	492,485,160	509,596,860
北海道	27,293,760	28,591,870	30,970,470	30,979,070	32,591,070	33,554,500	35,556,950
青森県	4,481,930	4,546,440	4,759,730	4,511,260	5,006,470	5,006,420	4,624,260
岩手県	6,306,100	6,517,240	5,590,690	5,888,980	6,156,280	6,241,440	6,075,910
宮城県	9,788,570	10,042,560	11,334,990	10,259,780	10,820,670	9,765,080	9,980,830
秋田県	3,721,130	3,460,540	3,493,090	3,761,400	3,457,240	3,399,890	3,346,180
山形県	5,430,380	5,559,550	5,430,680	5,898,540	5,973,260	5,443,790	5,242,180
福島県	10,798,650	10,585,930	10,748,340	11,060,830	11,473,400	10,198,820	10,858,410
茨城県	4,450,960	5,097,080	5,154,170	5,462,770	5,740,920	5,608,470	5,614,360
栃木県	8,695,920	9,762,230	9,717,140	9,582,340	10,288,850	10,316,840	10,224,250
群馬県	8,748,680	8,385,380	9,138,510	8,593,380	8,828,080	8,651,160	8,756,660
埼玉県	3,566,100	3,736,890	3,974,240	4,109,880	4,330,720	4,472,830	4,590,130
千葉県	15,959,680	19,321,960	20,398,580	21,201,240	22,573,510	21,880,880	24,636,500
東京都	41,528,320	49,189,870	52,824,060	54,258,780	59,087,920	57,514,950	59,949,670
神奈川県	16,331,430	17,235,100	16,840,830	19,200,770	19,065,960	18,746,090	20,756,330
新潟県	10,365,090	10,202,510	9,676,970	9,607,330	10,259,960	10,204,650	10,202,050
富山県	3,455,020	3,618,940	3,821,370	3,489,160	3,990,920	3,408,470	3,895,490
石川県	6,976,680	7,243,760	7,449,930	7,543,170	8,729,520	8,696,500	8,736,680
福井県	3,653,820	3,536,210	3,250,950	3,790,460	4,163,910	3,709,190	3,586,770
山梨県	7,069,110	7,020,510	6,928,770	7,570,390	8,425,870	8,352,920	8,024,260
長野県	19,375,310	18,291,290	18,750,560	17,897,190	19,213,380	17,804,660	17,989,080
岐阜県	5,575,640	5,830,330	6,042,480	6,098,660	6,778,010	6,384,400	6,205,370
静岡県	19,412,880	20,286,510	20,923,330	21,022,570	22,530,110	21,237,660	20,778,710
愛知県	12,406,940	13,426,230	14,653,230	15,395,410	16,622,180	16,558,790	17,189,390
三重県	7,568,670	8,334,690	9,686,440	8,794,360	9,458,820	9,304,450	8,319,100
滋賀県	4,310,460	4,217,270	4,074,590	4,628,730	5,393,240	4,831,230	4,649,630
京都府	14,405,110	16,240,750	20,087,510	16,986,760	18,255,030	17,649,500	18,921,720
大阪府	21,764,630	23,343,620	23,881,430	28,369,250	30,366,080	31,010,470	33,212,480
兵庫県	11,892,580	12,353,120	13,226,080	13,759,210	14,163,920	13,758,680	13,800,590
奈良県	2,027,900	2,230,560	2,480,220	2,270,170	2,552,560	2,522,030	2,654,380
和歌山県	4,095,810	4,283,310	4,441,600	4,456,370	4,736,400	4,665,510	4,862,960
鳥取県	3,303,670	2,864,320	3,540,280	3,043,000	2,994,290	2,989,460	2,991,700
島根県	2,812,210	2,626,850	3,274,100	3,219,190	3,417,450	3,466,560	3,186,890
岡山県	4,748,580	4,667,230	5,216,680	5,387,650	5,163,880	5,347,280	5,825,430
広島県	7,885,900	8,220,210	7,942,310	8,572,130	9,421,370	9,592,650	9,629,230
山口県	4,175,000	4,292,020	4,379,090	4,489,320	4,847,160	4,663,910	4,440,630
徳島県	1,963,470	1,820,010	2,256,720	2,869,160	2,314,910	2,383,140	2,298,150
香川県	3,265,020	3,550,090	3,585,200	3,462,700	4,076,570	3,779,900	3,758,400
愛媛県	4,172,340	3,797,870	3,599,020	3,592,350	3,773,550	4,041,340	4,700,800
高知県	2,931,420	3,088,360	2,873,700	2,904,380	2,819,870	2,821,620	2,714,490
福岡県	13,240,240	13,674,120	13,986,570	15,232,160	16,143,170	16,475,930	17,001,170
佐賀県	2,696,600	2,483,640	2,637,180	2,837,990	3,052,190	3,040,560	2,973,270
長崎県	6,993,380	6,628,470	7,254,700	7,315,020	8,672,440	7,383,780	7,719,200
熊本県	7,231,800	7,089,180	7,057,610	6,869,150	7,130,540	7,275,180	7,898,550
大分県	6,319,580	6,122,600	6,711,060	6,101,170	7,388,270	6,851,540	7,350,280
宮崎県	3,097,120	3,627,650	3,716,050	3,481,860	3,792,000	3,643,200	4,194,130
鹿児島県	6,795,810	6,870,930	7,322,530	7,534,490	7,972,730	7,202,190	7,986,670
沖縄県	14,145,070	15,579,340	20,789,590	20,142,060	20,063,730	20,626,690	21,686,570

H26: 全国総値
 H27: 全国総値
 H28: 〃
 H29: 〃

観光 宿泊旅行統計調査

2-1. 都道府県別 外国人延べ宿泊者数 推移表 (年計)

(単位:人泊)

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
	計	計	計	計	計	計	計
全国	18,415,690	26,314,340	33,495,730	44,824,600	65,614,600	69,388,940	79,690,590
北海道	1,583,740	2,012,070	3,069,750	3,890,590	5,641,140	6,554,220	7,702,470
青森県	33,730	42,430	62,480	74,010	119,010	160,180	260,330
岩手県	33,330	45,990	65,320	77,130	106,330	132,030	187,930
宮城県	53,520	90,330	106,600	117,150	190,610	199,290	264,470
秋田県	27,210	27,580	36,140	41,510	59,800	66,950	104,660
山形県	34,710	32,170	37,410	48,220	75,720	88,200	117,860
福島県	27,540	37,230	41,830	44,040	56,420	78,860	130,300
茨城県	88,200	89,020	88,490	94,070	200,730	224,630	230,690
栃木県	77,300	106,910	178,960	159,400	231,540	252,430	271,810
群馬県	48,760	69,240	108,930	112,280	160,340	214,350	291,460
埼玉県	55,030	88,230	97,570	99,440	158,580	169,510	219,440
千葉県	1,429,740	1,794,850	2,048,240	2,667,200	3,500,370	3,344,800	3,675,180
東京都	5,651,810	8,291,740	9,830,950	13,195,260	17,560,590	18,059,960	19,775,890
神奈川県	674,600	924,550	1,067,440	1,432,500	2,156,320	2,160,600	2,336,510
新潟県	91,250	96,870	106,510	135,520	262,500	267,020	315,400
富山県	51,160	94,000	136,290	142,070	207,790	222,270	287,720
石川県	126,260	190,380	326,380	348,290	517,430	623,460	777,240
福井県	23,560	26,570	30,360	31,530	55,970	54,360	61,160
山梨県	250,270	387,360	492,230	948,880	1,252,130	1,371,300	1,608,760
長野県	224,140	288,340	543,090	660,480	947,450	1,134,940	1,289,960
岐阜県	134,080	260,090	416,740	597,690	930,660	1,013,490	975,060
静岡県	333,560	494,220	559,740	786,310	1,739,620	1,570,350	1,501,920
愛知県	712,630	944,640	1,147,560	1,489,680	2,347,290	2,393,190	2,542,860
三重県	90,990	94,660	130,890	178,520	391,740	351,870	334,230
滋賀県	85,710	114,000	131,880	230,750	477,250	480,740	388,580
京都府	1,052,740	2,305,170	2,625,880	3,291,010	4,578,670	4,602,810	5,556,380
大阪府	2,365,390	3,060,850	4,314,500	6,200,160	8,965,670	10,008,830	11,672,040
兵庫県	309,060	353,830	507,030	697,910	1,207,020	1,119,760	1,248,220
奈良県	34,560	104,300	164,570	145,260	258,600	307,840	389,440
和歌山県	63,890	116,930	187,100	284,790	434,630	557,350	525,050
鳥取県	31,810	39,490	46,850	58,830	103,430	100,320	140,530
島根県	15,830	17,920	18,980	28,000	42,950	58,310	47,860
岡山県	59,030	78,880	85,970	110,960	170,530	281,800	438,970
広島県	169,620	401,130	365,800	435,020	740,630	839,710	927,890
山口県	37,020	48,170	46,230	56,670	109,410	92,520	117,330
徳島県	19,310	45,090	32,310	35,940	58,340	69,450	102,810
香川県	36,570	43,090	95,830	142,710	210,470	358,360	482,300
愛媛県	38,890	62,660	67,020	64,120	106,850	146,700	178,590
高知県	16,480	33,640	24,820	38,590	65,890	75,400	75,410
福岡県	604,160	758,730	900,040	1,357,300	2,359,700	2,674,110	3,112,070
佐賀県	36,860	40,960	55,550	90,940	191,120	249,640	385,250
長崎県	276,810	418,820	424,980	492,510	872,190	725,420	779,250
熊本県	250,390	325,910	421,320	475,400	714,720	518,730	807,750
大分県	358,860	310,320	409,640	400,400	773,990	827,010	1,386,930
宮崎県	41,980	153,230	136,990	161,020	201,880	245,180	296,670
鹿児島県	92,890	170,570	214,810	266,000	415,730	480,920	744,180
沖縄県	560,770	781,210	1,487,750	2,388,550	3,684,870	3,859,790	4,623,800

1127: 全国49位

観光庁 観光庁長官 報告書

平成29年度 徳島県の観光施設入込状況

施設名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	前年同期比	ピーク時	
① 大鳴門橋架橋記念館(マリン)：鳴門市	人	105,068	100,523	96,984	82,441	55,136	66.9	H23	110,462
② 渦の道：鳴門市	人	480,298	506,348	510,494	518,300	527,829	101.8	H12	881,317
③ 鳴門公園駐車場：鳴門市	台	128,589	135,330	139,089	141,728	144,559	102.0	H12	190,603
④ あすたむらんど徳島：板野町	人	433,695	434,829	500,754	474,436	438,917	92.5	H13	606,177
⑤ ドイツ館：鳴門市	人	24,323	25,642	28,532	28,984	31,640	109.2	H6	80,383
⑥ 藍の館：藍住町	人	26,801	26,569	31,217	31,384	34,249	109.1	H5	42,387
⑦ とくしま動物園：徳島市	人	239,889	242,783	265,172	230,381	227,816	98.9	H10	466,929
⑧ 阿波おどり会館：徳島市	人	130,191	137,737	142,373	150,882	162,336	107.6	H29	162,336
⑨ 文化の森総合公園：徳島市	人	725,941	774,339	865,037	1,097,071	905,976	82.6	H28	1,097,071
⑩ 阿波十郎兵衛屋敷：徳島市	人	25,806	26,412	26,436	28,494	28,955	101.6	S63	129,232
⑪ 太龍寺ロブウェイ(上・下)：那賀町	人	151,511	206,344	134,938	199,925	124,592	62.3	H5	308,000
⑫ うみがめ博物館(カワ)：美波町	人	31,871	28,827	34,329	33,553	32,526	96.9	H21	62,380
⑬ 祖谷のかずら橋：三好市	人	327,562	301,193	348,529	339,035	357,697	105.5	H10	398,093
⑭ うだつの町並み：美馬市	人	196,885	178,056	191,437	172,671	159,104	92.1	H21	238,422
⑮ 妖怪屋敷と石の博物館：三好市	人	28,493	27,353	27,560	24,336	21,539	88.5	H13	69,430
徳島県計(※①)		3,056,923	3,152,285	3,342,881	3,553,621	3,252,871	91.5		

※ ①合計値は、単位が異なったまま合算しているのに注意を要する。

↑
 国土交通省 国土運輸局
 徳島県東部圏域
 ①～⑮
 1129: 2,557,412人